

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：児童福祉諸費

事業名【新】保育士・保育所支援センターポータルサイト改修事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 子ども・女性局 子育て支援課 保育支援係 電話番号：058-272-1111(内3536)

E-mail：c11236@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 8,113 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	8,113	4,054	0	0	0	0	0	0	4,059
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

令和2年度に導入した「岐阜県保育士・保育所支援センターポータルサイト」について、5年間の保守運用契約期間が満了することから、今後の運用に向けて同システムの機能改修を行い、保守契約を更新する。

(2) 事業内容

○既存ウェブサイト等の機能改修による利便性向上
・現在運用されている、「岐阜県保育士・保育所支援センターポータルサイト」の機能改修を行い、より利便性の高いシステムの構築を目指す。
<こども家庭庁保育対策総合支援事業費補助金(保育士・保育の現場の魅力発信事業)活用事業>

(3) 県負担・補助率の考え方

国1/2 県1/2

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	8,113	保育士・保育所支援センターポータルサイト改修費
合計	8,113	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県少子化対策基本計画（第4次）において、保育士の人材確保を明記。

(2) 国・他県の状況

千葉県・広島県において導入事例あり

(3) 後年度の財政負担

開発後5年間（R7.4～R12.3まで）は開発したシステムを運用
（債務負担行為設定期間及び限度額）

期 間：令和6年度～令和11年度（6年）

限度額：12,000千円（債務負担設定予定）

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

現在運用されている、「岐阜県保育士・保育所支援センターポータルサイト」の機能改修を行い、より利便性の高いシステムを構築する。

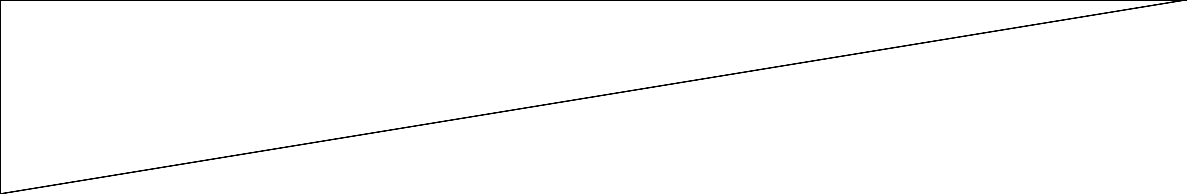
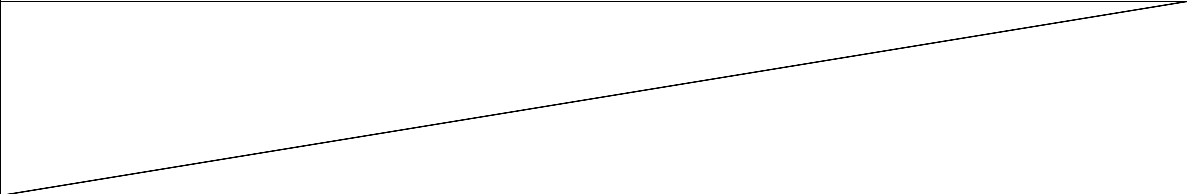
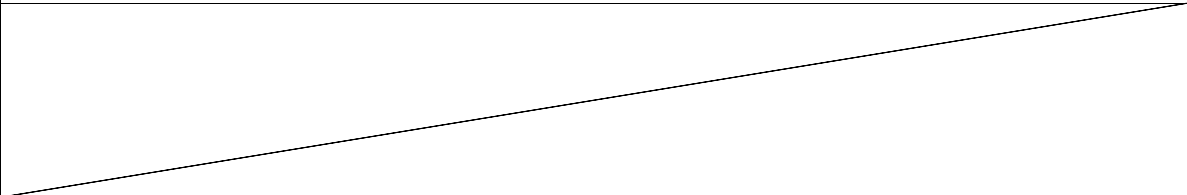
（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

システムの再開発を目的としており、指標設定になじまない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 3 年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	<p>保育士には、看護師や介護福祉士のような離職時の届出義務が課せられていないため、保育士確保のために引き続き情報を把握するためのシステムが必要である。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>保育士の女性割合は高く、出産や子育てにより長期間の休職や離職をする割合が高いため、それぞれの状況に応じた最新の情報を発信するシステムがあることによって、円滑な復帰や再就職へつなげている。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 1	<p>現システムにおいて、新たに登録される保育士の半数を占める保育士養成施設の学生の登録を促すため、施設が行う就職ガイダンスの機会を活用し、センターのPRを行っている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 県内保育士の情報収集ツールとして浸透させるため、セミナーやイベント等の情報及び保育の仕事の魅力発信につながるコンテンツの充実が求められる。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 令和2年度に稼働を開始した保育士・保育所支援センターポータルサイトを引き続き運用することで、センターの周知をはじめ、求人情報、セミナー及び支援制度等の情報発信を行う。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	<p>【〇〇課】</p>
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	